



これからの都市景観に必要なことは、伝統ある街並みや自然景観を保存しながら、新しい景観を創っていくことであり、こうして出来上がった優れた景観は、人々に潤いとやすらぎを与えるものと思っています。

小松駅周辺における、連続立体交差事業、駅東、駅西土地地区画整理事業の三大プロジェクトがいよいよ終盤を迎えて、小松駅周辺は小松の新しい顔としての姿を見せ始めてきました。これから、小松固有の歴史や伝統文化、自然や風土とが融合し、小松らしい表情が創り上げられることを、非常に楽しみにしており、期待もしています。

今回の「第4回こまつまちなみ景観賞」の作品を見ますと、歴史的景観、自然景観の配慮したもの、新しい景観を創造したもの等様々であり、市民の間に、景観形成にかける意識が一段と高まってきていることが強く感じられます。

このような気運の高まりに併せ、「美しいこまつの景観を守り育てるまちづくり条例」を制定しました。この条例により、市民、企業及び行政がより一層協働して、個性的で魅力的な都市空間や歴史に培われた文化の薫る街並みなど地域の特性を生かした都市景観を守り育ていけるものと思っています。

今後とも、人々に潤いとやすらぎを与えるような、自然の恵みや歴史の彩りある小松らしい都市景観の創出に取り組みますので、市民の皆様方のより一層のご理解とご協力をお願い致します。

こまつまちなみ景観賞 実行委員会会長

小松市長 西村 徹

趣 旨

日ごろ何気なく眺めている街の風景。ちょっと目を凝らして見れば「ステキだな」と感じる街並みやオープンスペースなどに不思議と潤いと安らぎを覚えるものです。

「こまつまちなみ景観賞」はまちづくりの取り組みとして、さらに都市景観の向上と市民のまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として、小松の自然、風土に調和し優れた都市景観づくりに貢献している建築物等を選び、それに携わった人たちを顕彰するものです。

表彰銘板

実行委員会では、こまつの優れたまちなみ景観に対して、広く市民に周知するため、受賞された施主の方々に、九谷窯元工業協同組合製の「九谷焼の銘板」を贈呈しています。

